

情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2019年11月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 | ☁️...やや好転 | ☁️...不変 | ☔️...やや悪化 | ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>11月度県内出荷額は前年並みか、やや減少気味。県外への出荷額は好調である。食品業界ではHACCP対応による生産管理や衛生的な設備機械化が進み始めている。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>県合計の出荷量は前年同月比104%だが、需要の地域差が大きい。</p>
<p>酒類製造</p> <p>増税の影響か、予想以上の低迷感がある。年末年始の最需要期に期待したい。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>今期は受注が切れ目なく続き好調に推移した企業や、大手との競争激化で収益等が悪化した企業など、業種や業態の違いも相まって、団地内の業況にはバラツキがみられる。</p>
<p>テントシート</p> <p>各種材料費の値上がりに伴う在庫数量も通常年度の環境に戻った状況である。原材料の値上げが、販売価格にうまく転嫁できていない状況にあると思われる。</p>	<p>機械団地</p> <p>売上高は対前年比で増加するも、仕入単価の上昇で相殺され収益増につながらないといった声がある。団地内の業況は横ばいで推移している。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>搬入量は、スギ・ヒノキともに横ばい。価格については、スギは横ばいであるが、ヒノキは単位当たり500円程度の上昇。</p>	<p>刃物製造</p> <p>価格改定、消費税もあるのに売上金額(税込)が昨年と変わらないということは、実質数量的には減少しているということである。受注はさほど変わっていないがやはり供給面で苦慮しているのが現状である。</p>
<p>製材</p> <p>原木・製品価格に大きな変化は無いが、年末を控えて双方ともに不足気味である。</p>	<p>船舶製造</p> <p>受注はやや一服感があるが、操業度は引き続き高い水準で推移している。</p>
<p>製紙(家庭紙)</p> <p>毎年11月は、年末需要に向けて稼働率が上がる月だが、今年は増税前の駆込み需要、大手家庭紙メーカーの増産、輸入品の増加と市場がダブつき気味。製品値下げ競争にならなければ良いが…。稼働率やや落ちる。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>11月度製品会取引高は、前年度同月の取引と大差なかった。特に業況に変化はなし。</p>
<p>印刷</p> <p>県内需要の官公需は先月に引き続き低調。民需に関しては微減か。県外需要に関しては業種によりばらつきはあるが微減模様。全体で前年を下回った模様。</p>	<p>卸団地</p> <p>消費税の影響か、売上は厳しくなっている。選挙の影響か、消費税の影響か、業界全体が至って低調な11月だった。12月に降に期待を寄せるが、大きく好転する材料は見当たらない。</p>

<p>青果卸売</p> <p>産地状況は豊作、市場価格は安値安定の為、販売価格は伸びず、売上はダウン。お歳暮、年末商品に期待。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>本年度「四万十市中心商店街活性化計画」が策定され、基本方針や目標に基づいた10事業に取り組んでいる。11/30にその一つ「四万十市まちあそび人生ゲーム」を実施し、97組327名が商店街のお店を巡り大いに賑わった。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>強風の影響をうけ、その前後4~5日は入荷が少ない。全般的に出荷は少なかった。カツオは高値のため、あまり需要がなかった。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>月間を通して、業界関係の大会や学会、スポーツ大会により集客され、稼働率も伸びた。天候にも恵まれ、観光地や街中での滞留時間が延び、来外者の満足度も上昇した。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>宇佐地区で毎年恒例の抽選会を行った。土曜市のお店も減ってさみしくなっているが、たくさんのお客様ににぎわった。</p>	<p>飲食店</p> <p>一般の観光客や学会、スポーツイベント等からの集客が望める本月だが、県外客が例年に比べ特に多かった。それに対し県内客は少なく、業種・業態により売上に差がでた。業界全体としては景況は不変。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>11月の原油価格は(ドバイ、オマーン平均)、バーレル62ドル台で推移し、県の石油製品価格は変動なし。12月上旬に開催されるOPEC総会での協調減産体制が延長されるかが注目され、現在の期限はR2/3末までと決められている。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合クーポン売上前年同月対比73%、全旅クーポンを加味して83%、総売上前年同月対比94%。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>全商品合計で、前年比93%としてきびしい。4Kテレビは前年比103%。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>公共土木用生コン出荷量は、前月比88.1%、前年同月比109.4%。公共工事請負金額は前年同月比167.2%、前年対比累計138.2%。R1/11末時点の発注者別前年対比累計では、国:126.1%、高知県:153.7%。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>先月から表示台数、客単価等の変動はないが、中古車市場全体の台数不足と相場上昇傾向にある。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引込線の工事は、前年同月比80.6%となった。高知中央、安芸、須崎地区が減少した。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>商店街にあった飲食店が別の区域に移転し、空き店舗となった。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>組合事業は昨年度を若干下回った。燃料価格は2円程度の値上げとなり、繁忙期に向けて不安材料となった。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況(前年比)売上:94.2%、台数:96.3%。消費税値上げ後の売上の状況についてアンケート調査を実施中。中間報告では変化なし60%、減少35.5%、増加4.5%の結果となった。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:101.9%、輸送回数:102.4%。当月の実働率は65.3%。高知市において運賃料金の改正を申請中であるが、未だに据置かれており認可のめどが立たない状況にある。</p>

挑戦の数だけ、
保険がある。

To Be a Good Company

東京海上日動

